レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成23年2月10日	使用開始日			
登録診療科	泌尿器科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	MVAC(カルボプラチン)				
疾患名	尿路上皮がん	適応の備考	シスプラチンが投与できない患者のみ使用		
適応分類	進行・再発、術後補助、術前				
1コース日数	28　日間	総コース数	2－4　コース	催吐性リスク	day1.15.22：軽度、day2：高度
抗がん剤投与量・投与日	メソトレキセート30mg/㎡　day1.15.22、エクザール3mg/㎡　day2.15.22、ドキソルビシン30mg/㎡　day2、カルボプラチン5AUC/body　day2				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●														●							●						
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●														●							●						
			/																													
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●														●							●						
	点滴静注	メソトレキセート注	30 mg / ㎡	30 分	●														●							●						
			/																													
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body			●																										
	点滴静注	プロイメンド注150mg	1 本 / body	30 分		●																										
			/																													
4	主ルート	アロキシ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg/50mL	1 本 / body			●																										
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●																										
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●																										
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body			●																										
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body	60 分		●																										
			/																													
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body			●													●							●						
	点滴静注	エクザール注	3 mg / ㎡	30 分		●													●							●						
			/																													
7	主ルート	生食100mL	1 本 / body			●																										
	点滴静注	ドキソルビシン注	30 mg / ㎡	30 分		●																										
			/																													
	総投与量は500mg/㎡まで																															
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●													●							●						
	点滴静注		/																													
			/																													
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body				●																									
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分			●																									
			/																													
10	主ルート	生食100mL	1 本 / body					●	●																							
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分				●	●																							
			/																													

【投与上の注意】

・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄﾞは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄﾞの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
・ドキソルビシンの総投与量は500mg/㎡まで。